

1 調査名称：札幌市総合都市交通体系調査

2 調査主体：札幌市

3 調査圏域：札幌市管内

4 調査期間：平成 23 年度～平成 30 年度

5 調査概要：

札幌市では、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化や低炭素社会の実現といった課題などを踏まえ、あるべき将来都市像を実現するため、20 年先を見据えた将来交通に対する基本的な考え方と、概ね 10 年間の短・中期計画となる交通戦略を取りまとめた札幌市総合交通計画を平成 23 年度に策定した。

札幌市総合交通計画は、札幌市を取り巻く様々な課題に対応した将来交通計画であるとともに、より効果的・効率的に事業展開が図れるよう、各種交通施策・事業を体系化した総合的な都市交通計画であり、札幌市の交通に関する個別計画等を策定・実施する上での指針になるものである。

なお、札幌市総合交通計画は、社会経済情勢の変化や上位計画の策定状況を踏まえ、見直しをする必要があり、本調査では、計画改定に向けた調査・検討を行う。また、札幌市総合交通計画で取りまとめた交通戦略に基づき、「路面電車延伸等の検討」・「札幌駅交流拠点基盤整備基本検討」に関する調査・検討を行う。

## I 調査概要

### 1 調査名称：札幌市総合都市交通体系調査

### 2 報告書目次

- (1) 平成 30 年度札幌市総合交通計画検討業務
  - 第 1 編 業務概要
  - 第 2 編 札幌市総合交通計画の見直し検討
  - 第 3 編 交通需要予測の見直し
  - 第 4 編 札幌市総合交通計画改定検討委員会の開催
  - 第 5 編 市民ワークショップの開催
  - 第 6 編 関係団体等との協議資料・説明用資料の作成
- (2) 平成 30 年度札幌市地下歩行ネットワーク拡充実施方針検討業務
  - 第 1 編 業務概要
  - 第 2 編 まちづくりとの関連性
  - 第 3 編 地下 NW 及び都心土地利用等基礎データ
  - 第 4 編 地下歩行者ネットワーク形成箇所の抽出
  - 第 5 編 経済波及効果
  - 第 6 編 歩行者動態推計
  - 第 7 編 費用便益分析
  - 第 8 編 総合評価
  - 第 9 編 公民連携による地下 NW 形成検証
- (3) 平成 30 年度路面電車延伸に係る概略検討業務
  - 第 1 章 業務概要
  - 第 2 章 検討の背景
  - 第 3 章 導入空間の検討・課題整理
  - 第 4 章 課題への対応
  - 第 5 章 とりまとめ
- (4) 平成 30 年度札幌駅交流拠点基盤整備基本検討業務
  - 第 1 章 業務概要
  - 第 2 章 前提条件の整理
  - 第 3 章 バスターミナル施設整備案の検討
  - 第 4 章 タクシー乗降機能整備案の検討
  - 第 5 章 その他の交通機関に係る検討
  - 第 6 章 歩行者動線の検討
  - 第 7 章 とりまとめ資料の作成
  - 第 8 章 今後の課題

3 調査体制

委員会・幹事会等は設置していない。

4 委員会名簿等

委員会・幹事会等は設置していない。

## Ⅱ 調査成果

### (1) 札幌市総合交通計画検討

#### 1 調査目的

札幌市では、20年後を想定した将来交通に対する基本的な考え方及び10年間の短・中期における交通戦略を取りまとめ、札幌市の交通に関する個別計画等を策定・実施する上での指針として、平成24年1月に札幌市総合交通計画を策定している。

一方、札幌市を取り巻く社会経済情勢は、人口減少や高齢化の進行、グローバル化の進展など今後も変化していくことが予測され、また、上位計画として、平成25年に札幌市まちづくり戦略ビジョン、平成28年に第2次札幌市都市計画マスタープランが策定されたことから、これらの状況や施策進捗状況及び交通課題を踏まえ、今後計画を改定する予定である。

本業務は、札幌市総合交通計画改定検討委員会や市民ワークショップを実施し、計画の見直しに向けて具体的な検討を行ったうえ、計画の骨子を作成することを目的とする。

## 2 調査フロー

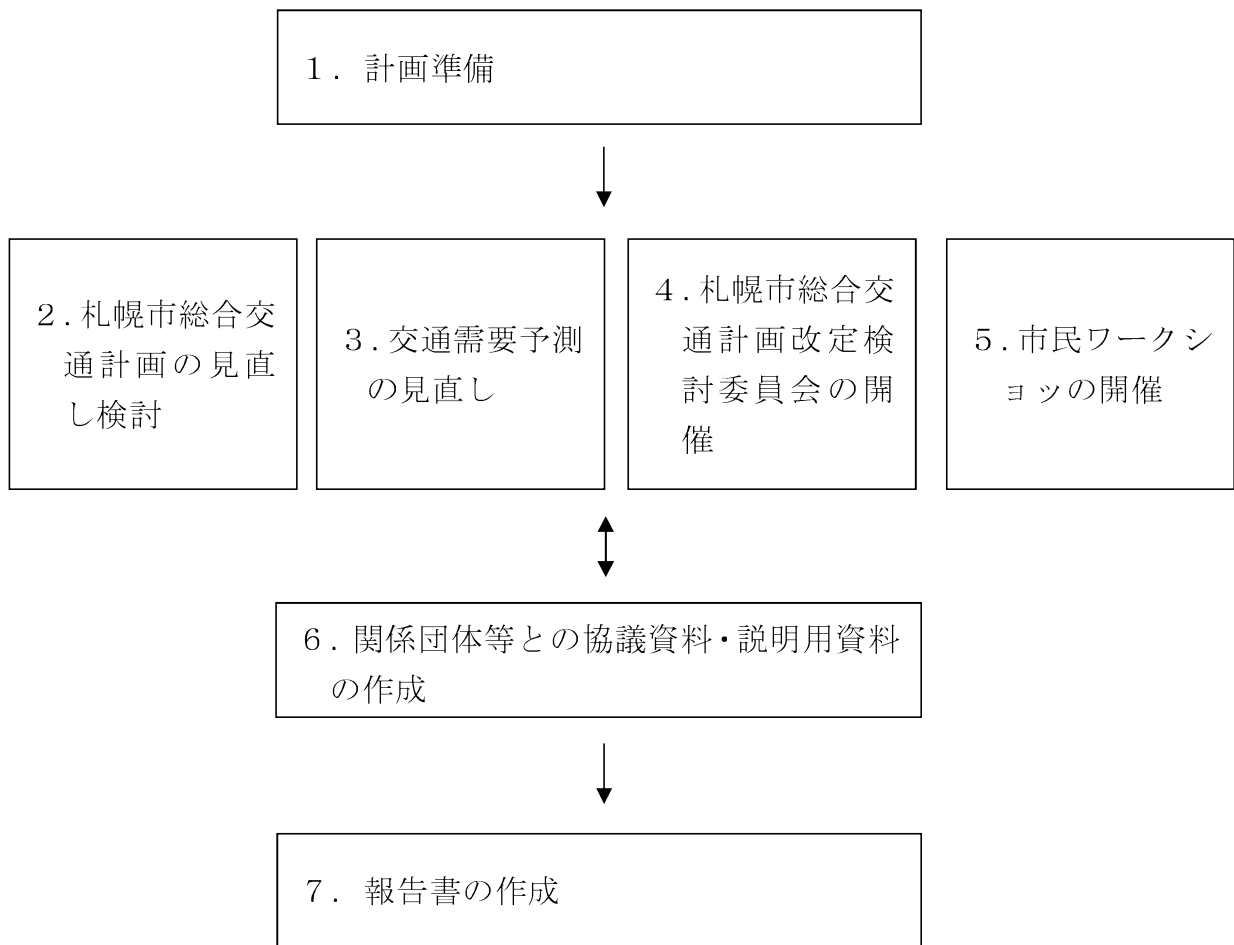


図 調査全体フロー

### 3 調査圏域図

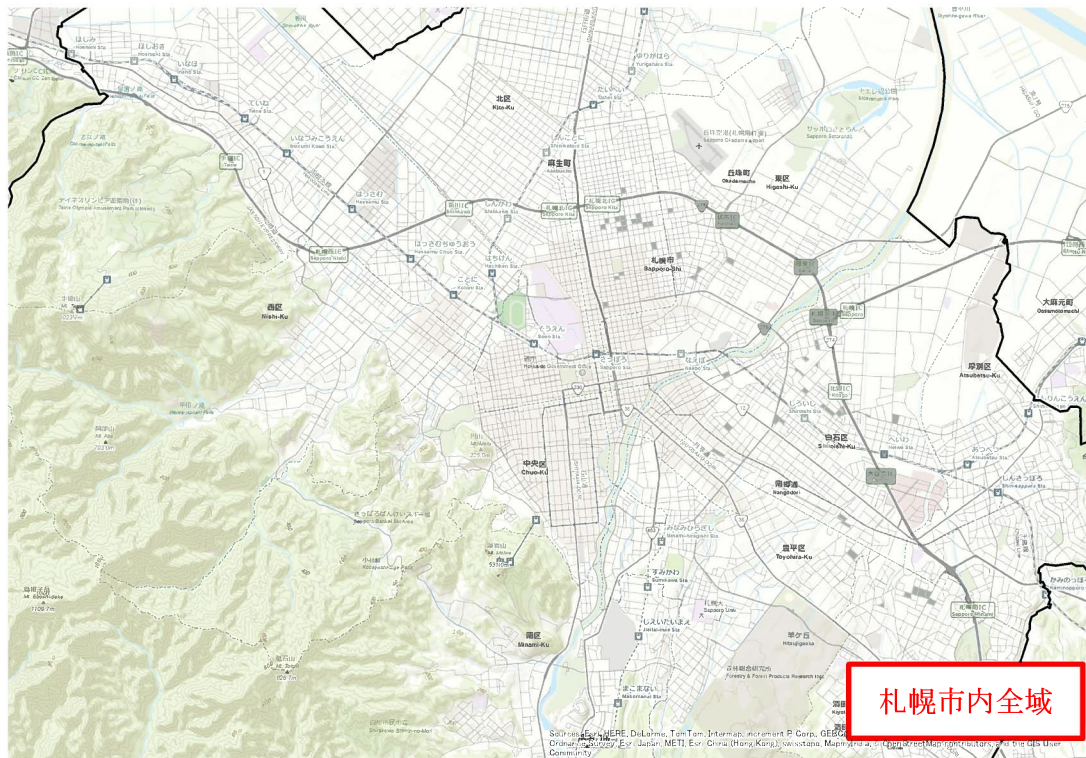
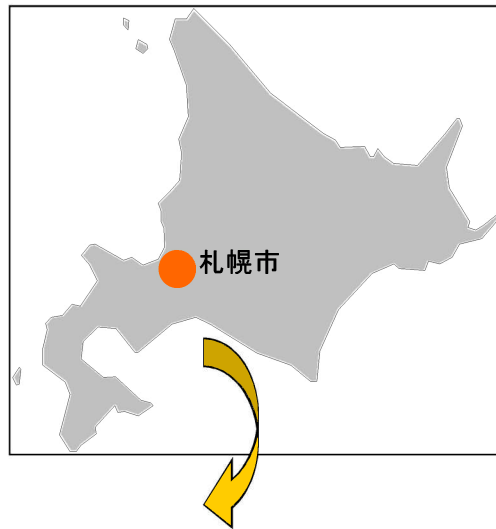


図 調査圏域図

#### 4 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報であり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。

## (2) 地下歩行ネットワーク拡充実施方針検討

### 1 調査目的

札幌市の都心部における地下歩行ネットワークは、J R 札幌駅周辺地区の開発、1972 年の冬季オリンピック開催を契機とした地下鉄や地下街建設、平成 23 年の札幌駅前通地下歩行空間の供用開始により、全長がおよそ 9 キロメートルにも及び、積雪寒冷地札幌の四季を通じた市民や来街者の安全・快適な回遊を支える都心の重要な資産となっている。

また、平成 28 年 5 月に策定した「第 2 次都心まちづくり計画」において、札幌・都心の有するポテンシャルを強化し、市民や来街者にとって魅力的なライフスタイル・ワークスタイルを生む都市空間を形成するため、重層的かつ多様な地上地下のネットワーク強化・拡充をすることとしている。

一方、新たな地下基盤施設の整備には多大な事業費が必要であることから、限りある財源を効率よく投入するとともに、民間との連携による新たな事業展開を見据える必要がある。

本業務では、これまでの地下歩行ネットワーク形成による効果やまちづくりへの影響などを分析・検証し、今後の地下歩行ネットワーク形成のあり方について検討するものである。



## 2 調査フロー

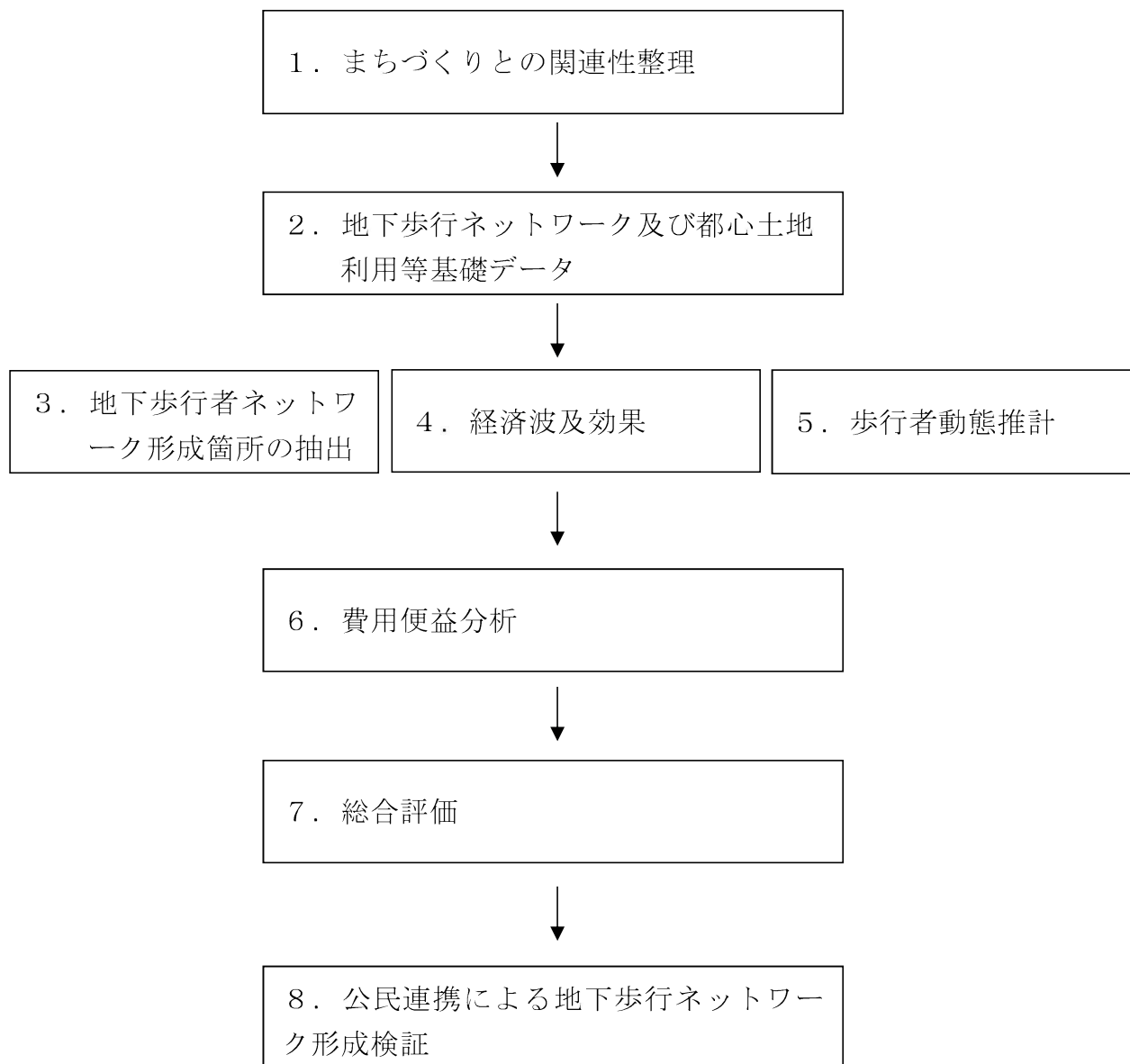
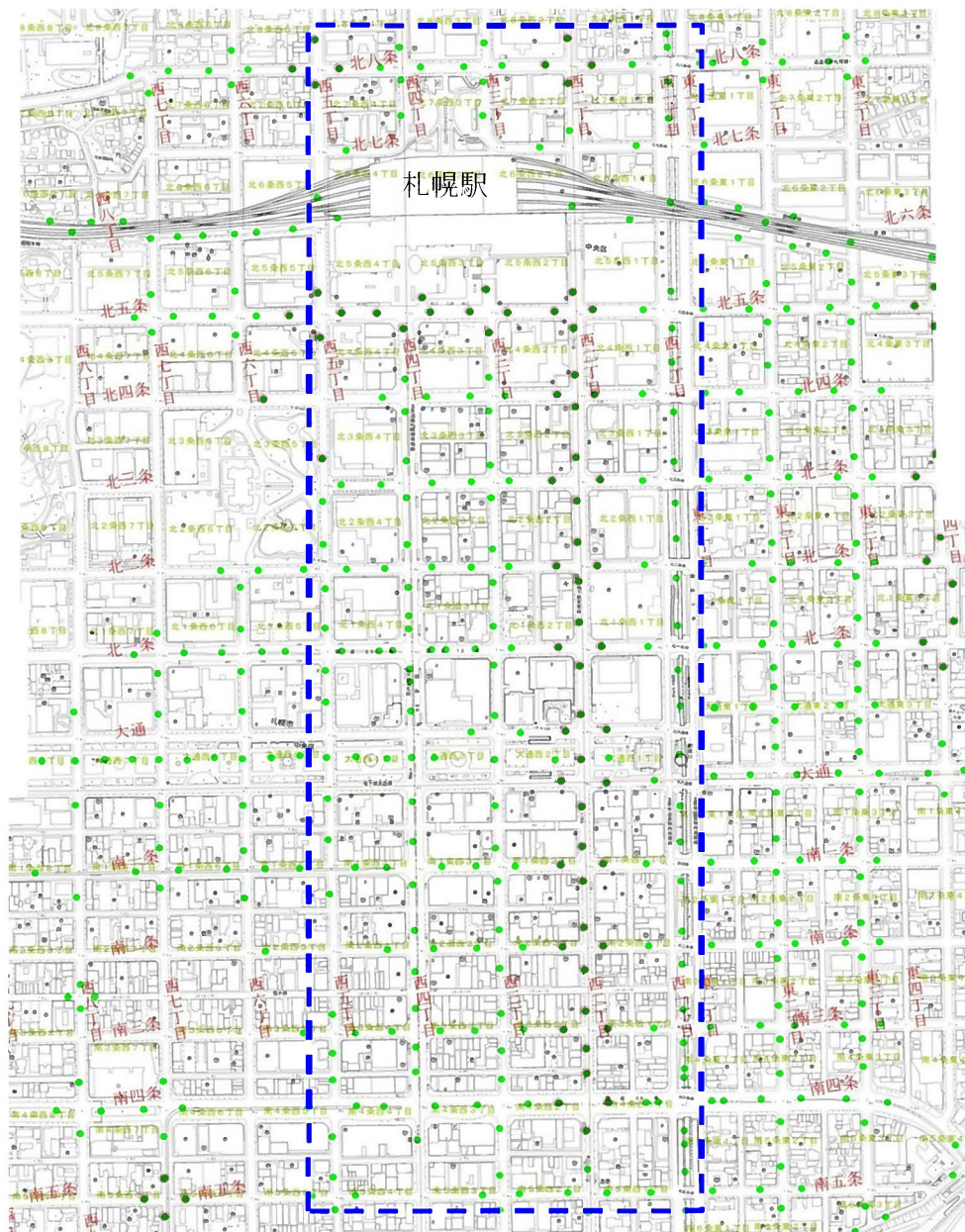
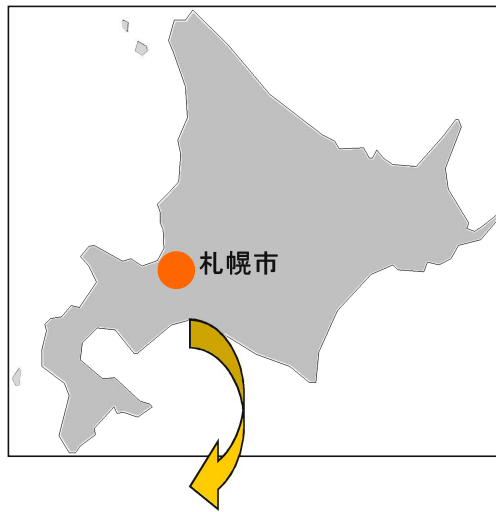


図 調査全体フロー

### 3 調査圏域図



#### 4 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報であり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。

### (3) 路面電車延伸検討

#### 1 調査目的

札幌市路面電車は、都心や都心部周辺での利便性の高い生活を支える交通機関であり、人や環境にやさしく、魅力や賑わいを創出するという特性を生かし、札幌市全体の活力向上に資する都市基盤として重要な役割を担っている。

こうしたことを踏まえて、札幌市ではまちづくりに寄与する路面電車の活用を検討し、平成22年3月に「札幌市路面電車活用方針」を策定し、「都心」「創成川以東」「桑園」の3地域を延伸検討地域とした。

本業務では、延伸検討3地域における軌道導入空間の検討等を行う。

#### 2 調査フロー

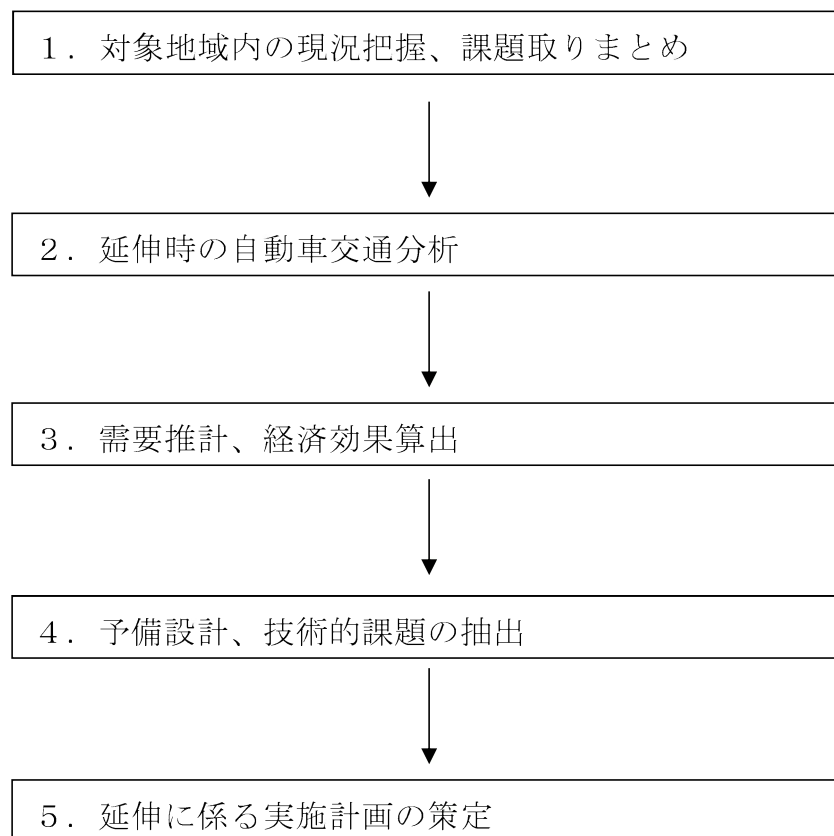


図 調査全体フロー

### 3 調査圏域図



図 調査圏域図

#### 4 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報であり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。

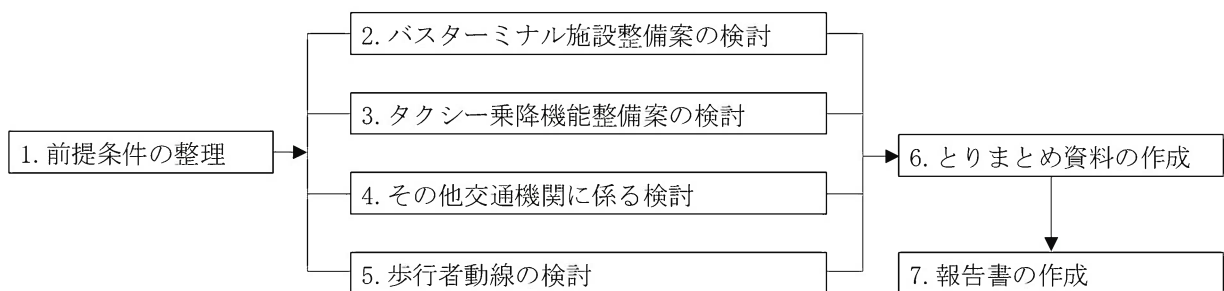
#### (4) 札幌駅交流拠点基盤整備基本検討

##### 1 調査目的

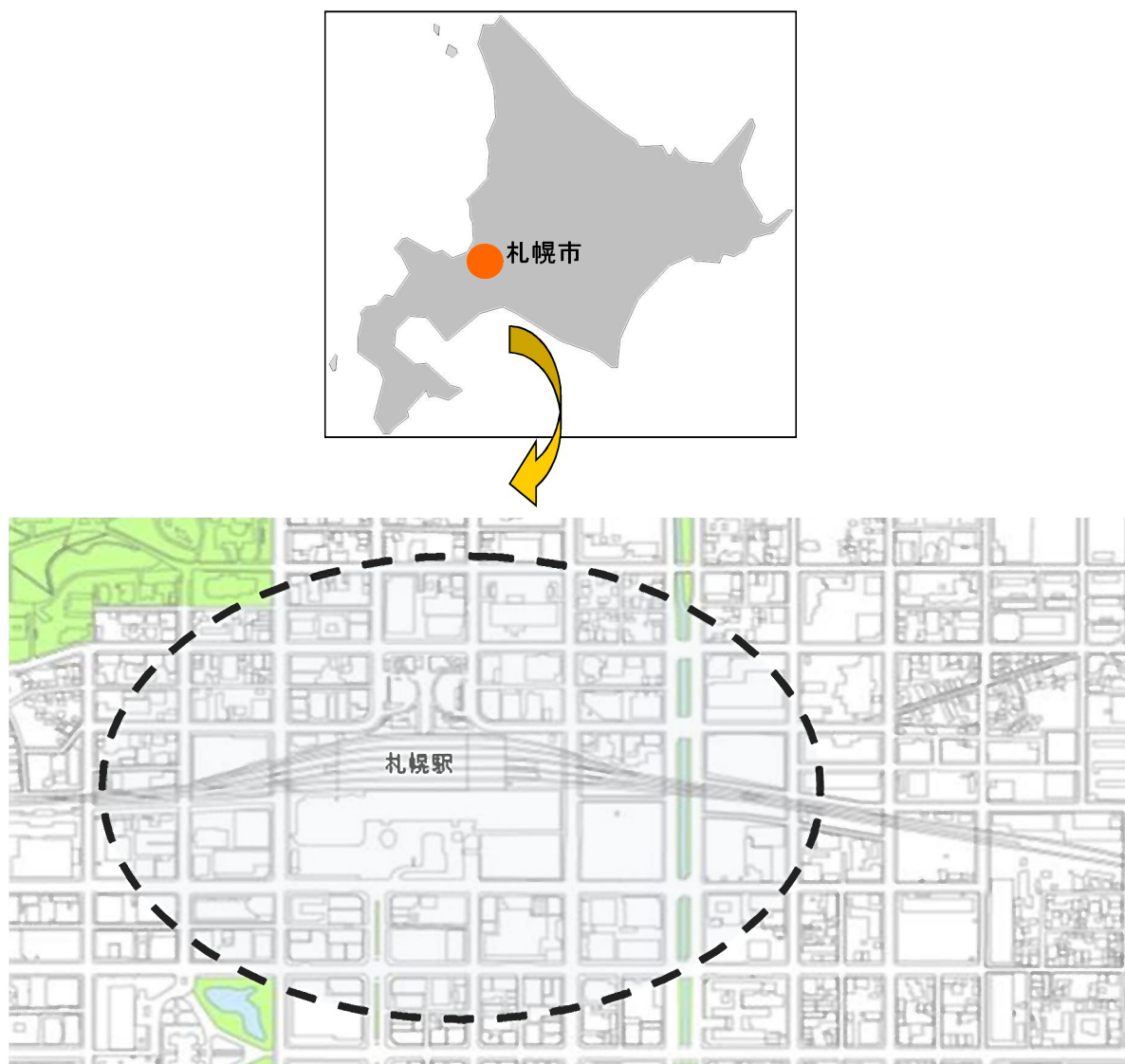
札幌駅交流拠点は、平成 28 年 5 月に策定した「第 2 次都心まちづくり計画」において、骨格構造として位置付けられた交流拠点のひとつであり、また道内最大の交通結節点であることから、北海道・札幌の国際競争力をけん引し、その活力を展開させる起点としてのまちづくりを進めることが強く求められている。

また、平成 29 年 2 月に策定した「札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想」においては、国内外との連携・交流を促進する利便性の高い基盤整備の推進を目標としており、北海道新幹線札幌延伸に伴う乗継利便性の強化や滞留空間の創出、分かりやすい歩行者ネットワークの形成、オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れたバリアフリー等の対応など誰もが利用しやすい環境づくりが求められていることから、本業務は、札幌駅交流拠点における望ましい基盤整備のあり方について検討するものである。

##### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図





#### 4 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報であり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。